

## 東京国際空港D滑走路着工記念式典

平成19年5月20日（日）羽田空港内（日本航空西ライン整備ハンガー）において「東京国際空港D滑走路着工記念式典」を開催しました。

本事業は、羽田空港4本目の滑走路を整備し、年間の発着能力を現在の29.6万回から40.7万回に増強し、多様な路線網の形成、将来の国内航空需要に対応した発着枠を確保しつつ国際定期便の受入を可能とするもので、平成19年3月30日に現地着工しました。

式典には、冬柴鐵三国土交通大臣をはじめ、多数の関係者が出席しました。中島威夫関東地方整備局長からの「羽田空港の能力拡充が全国から求められており、D滑走路の工事を安全・着実に進める事を誓う」との式辞に続き、冬柴国土交通大臣が「羽田空港の機能強化は、我が国にとって喫緊の課題。また、国際拠点空港である成田空港を補完し、首都圏における国際航空需要に応じていくために、成田空港と羽田空港を一体的に活用していくことが必要。2010年10月末の供用開始を目指して進められるが、事業の安全かつ着実な推進を図りたい」と挨拶。菅原東京都副知事、松原大田区長、泉信也参議院議員からの来賓祝辞、鍬入れ等を行いD滑走路の無事完成を祈りました。

